

かさま 社協だより

No.47



編集・発行 2022.4.21

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL https://www.kasama-syakyo.jp/



サロン「わらくの会」(箱田)

撮影 畠山

も く じ

- ① 令和4年度 社協事業計画および予算 2～3
- ② 『社協』を知っていますか? その6 4
- ③ サロン「わらくの会」・コロナ禍で配食サービスを停止する場合 5
- ④ ボランティアセンターだより 6～7
- ⑤ 第71回茨城県社会福祉大会・ひきこもりサロン・ちょっといい話 8
- ⑥ 善意銀行・3社からの寄贈 9
- ⑦ インフォメーション 10



この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金を受けています。

計画および予算

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減少や不安定な雇用情勢などにより生活困窮世帯が増加し、またボランティア活動や支え合い活動が中止になるなど、多くの住民が生活に不安を強いられ、地域社会づくりが停滞し、生活様式も大きく変化してきました。

国は、地方公共団体などに対し、地域共生社会の実現に向けた取り組みとして、①相談支援②社会参加の支援③地域づくりに向けた支援を柱とする、地域住民の複合・複雑化した生活課題を、包括的に支援する体制の構築を求めています。

これらを踏まえ、「第3次笠間市地域福祉活動計画」の中間年度となる令和4年度は、本会の理念でもある「誰もが安心して暮らせる地域社会」の充実に向け、地域福祉を推進する中核的団体として、住民・福祉団体及び関係者の協力を得ながら、地域生活課題の解決に取り組むとともに、各種事業を積極的かつ有効的に実践するよう取り組んでまいります。

～地域福祉活動を推進します～

地域住民や関係機関が連携を図り、地域の様々な主体がつながり、支え合う地域共生社会の実現を目指します。また地域住民が他人事を「我が事」として捉え、地域で「丸ごと」受け止め、主体的に解決できる体制の構築に努めます。

新たに「法人後見受任事業」を実施し、普及や啓発に努めるとともに、日常生活自立支援事業についても、利用者ニーズに即した体制を整えます。

～ボランティア活動を推進します～

市民一人ひとりが地域福祉に関する理解と関心をもち、人と人とのつながりを大切にする意識や地域福祉の担い手として、ともにふれあい、心を育むため、講座の充実とボランティア活動の啓発に努めます。

～在宅生活の自立支援を推進します～

支援を必要とする市民が、周囲から孤立することなく、住み慣れた地域で安心した日常生活が送れるよう、必要な福祉サービスを関係機関と連携して提供し、その人らしく暮らすことのできる地域での生活支援を推進します。

～社協体制の強化を図ります～

組織体制の強化と職員の資質向上を図るとともに、安定した法人運営に努め、行政とのパートナーシップで地域福祉を推進します。

また、多くの市民から信頼される市社協に努め、事業を積極的に遂行するための自主財源確保に努めます。

重

点

目

標

令和4年度

事業協社

1 法人運営事業

- ① 理事会・評議員会の開催及び監査の実施
- ② 正副会長会議の開催
- ③ 部会・委員会等の開催
- ④ 社協会員（法人・特別一般）の加入促進
- ⑤ 善意銀行事業の促進
- ⑥ 連絡調整及び支援協力の充実
- ⑦ 各種会議、研修会の実施及び参加
- ⑧ 指定管理業務等の適正管理
- ⑨ 事務局体制の充実・強化
- ⑩ 福祉人材育成
- ⑪ 社会福祉大会の開催

2 地域福祉推進事業

- ① 小地域福祉活動の推進
- ② 福祉教育の推進
- ③ ボランティアセンターの運営
- ④ 給食サービス（配食・会食）事業
- ⑤ 広報啓発活動の推進
- ⑥ 相談（心配ごと相談・法律相談）事業
- ⑦ 法人後見受任事業【新規事業】
- ⑧ 資金等貸付事業

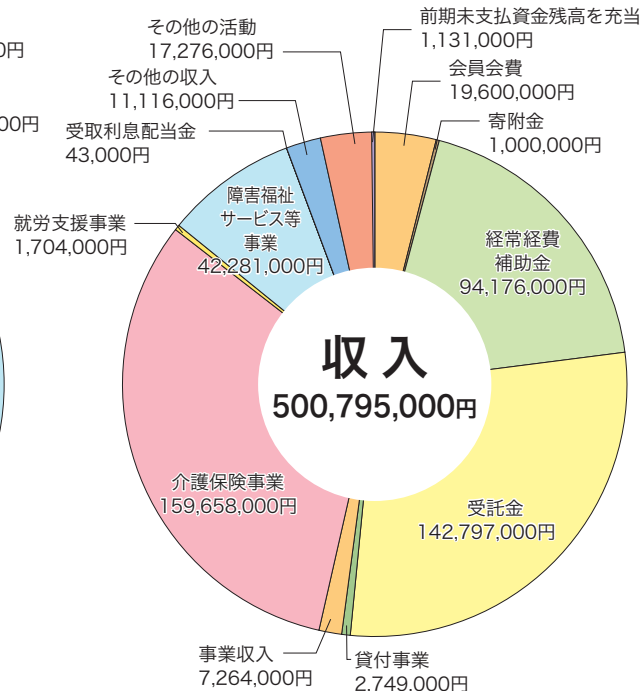
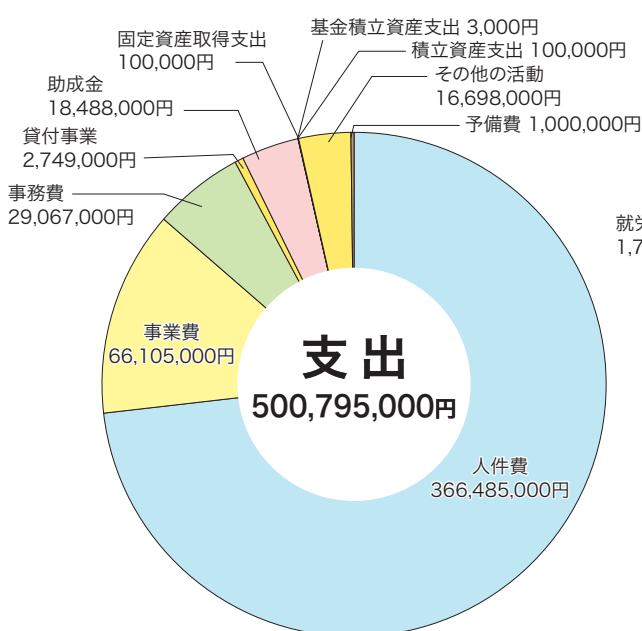
3 受託事業

- ⑨ 介護予防・生活支援サービス事業
- ⑩ 就労継続支援B型事業
- ⑪ 特定相談支援事業所の開設に向けた体制整備
- ⑫ ひきこもりサポート事業
- ⑬ 福祉用具の貸出・斡旋
- ⑭ 福祉バスの管理・運営
- ⑮ 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい配分事業の実施

4 介護保険事業、障害福祉サービス事業

- ① 居宅介護支援事業
- ② 訪問介護事業
- ③ 訪問入浴介護事業
- ④ 自立支援居宅介護事業
- ⑤ 生活支援体制整備事業
- ⑥ 手話奉仕員養成研修事業
- ⑦ 在宅重度身体障害者訪問入浴サービス事業
- ⑧ 移動支援事業
- ③ 日常生活自立支援事業
- ④ 生活困窮者自立相談支援事業・家計改善支援事業
- ⑤ 生活支援体制整備事業
- ⑥ 在宅重度身体障害者訪問入浴サービス事業
- ⑧ 移動支援事業

資金収支予算



『社協』を知っていますか？ 法人後見受任事業

その6

令和4年度から

法人後見受任事業を開始

成年後見制度とは？

障がいや認知症等により判断に不安や心配のある方が、いろいろな契約や手続きをするときにお手伝い（法的に支援）するのが「成年後見制度」です。

成年後見人等には、家族、法律・



福祉の専門家（弁護士、司法書士、社会福祉士等）、法人から適任者が家庭裁判所により選任されます。

どんな時に使う制度？

- ◆ 認知症が進み、預貯金の出し入れ等に自信がない
- ◆ 市役所等から書類が届いても何をすればよいかわからない
- ◆ 福祉サービスの内容や利用方法等が分からない

成年後見人等が、本人に代わって預貯金や不動産等の財産管理、入院や介護サービスに関する手続きや契約、お金の支払い等を支援することができます。

法人後見とは？

社会福祉法人や社団法人、NPO法人等の法人が成年後見人になることです。

親族などが個人で成年後見人になる時と同様、判断に不安のある

- ◆ 一人暮らしの親が悪質商法（訪問販売・振り込め詐欺等）にだまされないか心配

成年後見人等の同意を得ない契約は取り消すことが出来るので、悪質商法等のトラブルを防ぐことができます。

- ◆ 障がいのある子を持つ親にとっては、子どもの将来が心配

障がいがあり、自分で財産管理や施設入所等の契約、支払い等が難しい場合、成年後見人等が代わって手続きをします。

社会福祉協議会が法人後見をやる強み

- 社協が、後見事務を行うことにより、実務担当者が交代しても、長期にわたり継続した支援ができます。
- 社協内で後見実務や財産管理をする事により、不正防止や適切な後見業務をすることができます。
- 社協が、日常生活自立支援事業で積み重ねてきた金銭管理や相談援助等のノウハウを生かすことができます。
- 社協が、独自に培ってきた様々な地域連携ネットワークを支援に生かすことができます。

〈相談窓口〉

笠間市社会福祉協議会
生活支援グループ

Tel 0296 (77) 0730

笠間地区

サロンわらくの会 立ち上げについて

代表 飯村洋子

社協主催のサロン勉強会に何度か参加させていただきました。その頃から、憩いの場や交流の場の必要性を感じ考え始めました。箱田地区（元箱田小地域）にもサロンを作りたいと思いました。

コロナ禍になり時が経ってしまいました。コロナが下降気味になり地域交流センター長に相談をして立ち上げることを決めました。

協力していただける民生委員の方と二人で社協の方々にサポートをいただきました。また、ボランティアの方たちとの話し合いで名前も「サロンわらくの会」と決まりました。漢字で書くと「話楽」と書き、おしゃべりが楽しい会という意味です。



20人近くが集まった



開所式の後にはみんな笑顔

サロンを、シルバーハビリ体操の後にすることにして回覧をまわしていただき、地域の方からの参加者も増えることが出来ました。

第6波のコロナ禍ではありますが、1月27日にやっと「サロンわらくの会」が立ち上げることが出来ました。センター長と社協の方たちも出席してくださいました。

開所式の後、温かいお茶を

飲みながら、箱田独特の自己紹介をしました。一人ひとりがユーモアたっぷりで、笑いがあつたり拍手があつたりで、とてもすばらしい自己紹介でした。

その後、歌を唄いながら指遊びをして楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

みんなの笑顔を見ていて、改めてサロンを立ち上げて良かったと思いました。「楽しいからまた行こう」「友達も誘ってみよう」と言っていただけ、居心地の良いサロンになれるよう、会員の皆さんと話し合いながら続けていきたいと思っています。

高齢の方だけでなく誰でも気軽に遊びに来てください。これからもよろしく願います。



箱田独特の自己紹介

コロナ禍で、配食サービスを停止する場合

配食利用者・災害時要援護者宅を訪問します

配食停止の場合

今までは、2週間に1回程度電話していたが

コロナ禍等で、配食サービスを一時停止する場合、今までは、ボランティア推進員や社協職員が2週間に1回程度、対象者宅に電話をして、安否確認をしていました。

今後は、利用者宅を直接訪問します

しかし、配食停止が長くなった時などには、利用者宅を直接訪問し、不織布マ



お元気ですか



マスクをお使いください

スクを3枚配りながらお話をうかがうことにしました。

これは、緊急災害時にも必要な訪問なので、通常業務もありますが、各支所の実情にあわせて、日頃からの訓練として行います。

コロナが収束しても、緊急事態に備え、課題を検討します

今後コロナが収束し、社協の事業が通常に戻っても、これらの経験を踏まえ、緊急時への備えを怠らないよう課題を検討します。

センターだより

く り を 目 指 し て

「第一火曜日の会」では、まゆ玉人形つくりで干支のトラ作りに挑戦しました。
「子育てママの応援講座」では、手提げ袋・シューズ袋の作成にママ達が大奮闘。
女性の料理講座では、昼食弁当約30食作成の本番実習を体験し、参加者一同大感激。
「キッズマネー教室」では、親子でお金の大切さを学ぶことができました。
「シトラスリボン」作りを高校生を含むボランティア15人で行いました。
「福祉バザー」が2年ぶりに小春日和の中で開催されました。

「第二火曜日の会」

1/11

まゆ玉人形つくり

地域交流センターともべ 18人参加



かわいいトラに癒されて

まゆ玉で干支のトラ作りに挑戦しました。やさしく指導してくださった堤さんの説明を聞きながら細かい作業に四苦八苦しましたがだんだんとトラらしくなり、かわいらしいトラが出来上がりました。
自分で作った2つの干支のトラは、穏やかで、愛らしく見ていただけで心が和みます。
最後は、自作の干支のトラをテーブルに並べ参加者全員での記念撮影、抽選会もありとても楽しいひとときを過ごすことが出来ました。
家に持ち帰り玄関やテレビの横に飾りました。(H)

女性の料理講座

11/11・18・25

地域福祉センターともべ



第1回目は「調理に関する豆知識」の講義から始まり、大人数の調理のポイントなどについて、栄養士の説明からスタートしました。
第2回目は、調理実習で、利用者に提供する具体的な調理方法を実践で学びました。
第3回目には「オリブの会」のボランティアの皆さんと一緒に、いきいき通所利用者の昼食弁当30食を作りました。
講座修了後には、「続けて活動をやってみたい」と2人の方がサークルに入ることになりました。

子育てママの応援講座

3/2(水) 手提げ袋 4人参加
3/9(水) シューズ袋 5人参加

地域福祉センターいわま



令和4年度 ボランティア講座のお知らせ

福 祉	キッズ	市 民
・傾聴ボランティア養成講座 ・福祉体験ボランティア講座 ・食事づくり講座	・キッズ読み聞かせ講座 ・キッズマネー講座 ・ヒップホップ教室	・子育てママの応援講座 ・大人のチャレンジ教室 ・チャレンジボランティアスクール(中高年)



ボランティアセンター
笠間支所
岩間支所

TEL 0296-78-2626
TEL 0296-73-0084
TEL 0299-45-7889

FAX 0296-78-3933
FAX 0296-72-3722
FAX 0299-45-6250

令和4年度「第一火曜日の会」の予定

月 日	内 容
4月	ものづくり 「長座布団」づくり
7月	研修会 予定
11月	講演会 予定
2月	ものづくり 予定



問い合わせ

笠間市社会福祉協議会
ボランティアセンター
TEL 0296-78-2626

詳しくは、「広報かさま お知らせ版」をご覧ください。新型コロナウイルスの感染状況により、講座内容が変更または中止になる場合があります。



大勢でにぎわった福祉バザー

ボランティア

住みよいまちづくり

令和3年度
ボランティア連絡協議会
福祉バザー

皆様のご協力に感謝!!

福祉バザー売上金

11/20 友部支部 214,210円

笠間支部、岩間支部は実施することができませんでした。

※益金は地域福祉活動費として活用させていただきます。

スタッフ一同緊張の中で

友部支部会長 川澄 清子

晩秋とはいえ、さすがに秋晴れ、そして心地よい暖かい日にめぐまれ、コロナ禍で前回は中止となり楽しい待ちに待った賑やかイベントとなりました。

青空に鳴り響く花火の音が晴れ晴れと幕を開け、心から喜びが湧き上がってきました。

昨年は緊急事態も出された後下火となり、万全の態勢の

なかでの友部公民館前庭で開催が決定されました。



手づくり品も多く

今回は特にスタッフの健康チェックまたお客様へのマスク・手袋等また金銭の授受等万が一のことを考えてスタッフ一同緊張の中での開催となりました。花火を合図に「わあ」と人が押し寄せ品物を並びそろえる間もなく、すごい勢いでびっくりてんやわんやでした。

昨年は、若い子ども連れの家族が楽しそうに手を繋ぎながら多く参加し約5千人の人で賑わいました。

毎年行われる舞台でのイベントも縮小された中でも、多くのお客様まで賑わい何事もなく、心ゆくまで楽しい一日でした。

配送ボランティア募集

詳しくはボランティアセンター
TEL 0296 (78) 2926

1/20 シトラスリボンに願いを託して



地域交流センターともべ
友部支部 副会長 山本 信子



たえコロナウイルスに感染したとしても「ただいま」から「おかえり」と迎えられること、そして、普通の日常が早く戻ってくることを願います。

笠間市リーダーズクラブ（高校生会）と関係者の方々、笠間市ボランティアの仲間達、総勢15人でシトラスリボン作りを行いました。最初は紐が細く、手に馴染めず大変でしたが、高校生達は組紐の手順をすぐに覚え、あっという間に10個以上出来上がりしました。コロナ禍で生まれた差別や偏見をなくそうその気持ちをリボンに託す活動です。リボンは叶結びなので解けることはなく3つの輪は、地域・家庭・職場を表しているそうです。

11/23 親子で楽しく学ぼう『キッズマネー教室!』

地域福祉センターともべ

赤い羽根
共同募金



講師は茨城NPOセンター・コモンズの根本久子氏と熊谷萌氏です。小学生11人、保護者8人参加。お金って何だろう。おこづかい帳とその使い方。電子マネーって何だろう。ライフプランって何だろう。講師からのわかりやすい説明を受け、グループで話し合う時間も設けられました。参加した保護者からは「子どもにお金の話をどう教えたらいいか悩んでいたが解決できました。子どもと共にお金の大切さを知り、自分でちゃんと使えるようになるばと思っています。」



第71回茨城県社会福祉大会

個人20名とボランティア5団体が表彰される

令和3年10月27日にザ・ロサワシテイ会館において茨城県社会福祉大会が開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止となりました。社会福祉の向上・発展に多大な貢献をされた皆様には心よりお祝いを申し上げますとともに、本市の関係者を紹介いたします。

茨城県知事表彰

民生委員・児童委員

鈴木 進一

社会福祉施設職員

口町 美也子 認知症高齢者グループホームかさま
田澤 順子 特別養護老人ホームかさまグリーンハウス
菊地 めぐみ 居宅介護支援センターかさまグリーンハウス
友常 春美 指定認知症対応型通所介護センターかさまグリーンハウス
菅谷 ひとみ 特別養護老人ホームかさまグリーンハウス
山口 光旗 特別養護老人ホームかさまグリーンハウス
中崎 博美 兼法人本部企画指導課
みか保育園

社会福祉団体関係者

生田目 昌 社会福祉法人尚生会理事
會澤 由希子 笠間市社会福祉協議会
米川 初美 笠間市社会福祉協議会

岩間 洋 笠間市社会福祉協議会

社会福祉援助功労者

ふれあい電話
笠間市スクエアステップリ
ダー会笠間支部
笠間市シルバーバリアビリティ体操指導士会笠間支部
笠間市スクエアステップリ
ダー会友部支部
お達者ランチ会

茨城県

社会福祉協議会会長表彰

社会福祉施設職員

大竹 康弘 ひまわりキッズ館
河原 のぶ代 認知症高齢者グループホームかさまグリーンハウス
大月 和代 特別養護老人ホームかさまグリーンハウス
金子 恵子 通所介護センターグリーンハウスとまへ
自立更生者
稲永 悠作 茨城福祉工場
心配ごと相談員（1名）
社会福祉協議会職員
坂野 次郎
清宮 知加



映像を見ながら説明をうける

2/25 ひきこもりサロン「さんぽみち」勉強会

赤い羽根共同募金

ひきこもりサロン「さんぽみち」を開始して約一年が経ち、サロンに参加している方の中で、将来どのように生活していけばよいのか悩んでいる方もいます。今の生活の中でも、慌てず自信が持てる時間や空間が必要ではないかと考え、今回「さんぽみち」の参加者一人一人が、その人らしく生活していくための勉強会を地域福祉センターともべで開



グループに分かれての話し合い

催しました。認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ 小鷹美代子さんより、ゲッジョブセンターの活動内容（居場所の提供や就労体験等）を映像で見ながら説明を受け、その後3グループに分かれ、各グループにはコモンズの方やボランティアの方などが加わり、色カルタ・すごろく・トランプを行い他者との交流を図りました。次に当事者家族からの話しを聴き、最後にグループ同士で、参加した感想や今の自分の気持ちを話し合いました。話しが大分盛り上がり時間が足りないほどでした。家族からの話しには、みなさん真剣に耳を傾けて聞き入っていて、次回は当事者からの話しが聞ければと思います。

ちよっといい話

『ひきこもりの真実ー就労より自立より大切なこと』一般社団法人ひきこもりU X会議代表理事の林恭子さんの著書。この本には、ご自身も20年間こもった経験談が赤裸々に書かれています。こもり人だけでなく障がいや病气なども、周囲が勝手にゴールを就労や自立と見立てて焦り、余計にプレッシャーを与え、当人を傷つけ追い込んでしまうことがあります。孤立を和らげるには、一方的な意見を押し付け過ぎず、寄り添い耳を傾けましょう。また、抱え込まずに専門家のいる社協に相談してみてもいいでしょうか。SDGsの実現には、ダイバーシティ&インクルージョン（多様性の包摂）が不可欠です。女性・子ども・海外から来た方、全ての人がそれぞれ認め尊重し支え合い、自分達の手でより良く住みやすい地域が実現できればと願っています。（入江）



419 879

9

インフォメーション

information



小学生 中学年の部

友部第二小学校 4年 大田原夢生



小学生 低学年の部

友部小学校 2年 杉淵佳奈



中学生の部

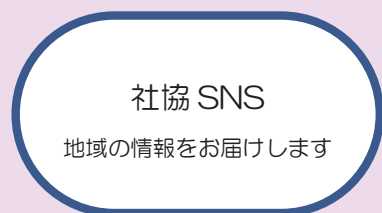
岩間中学校 3年 吉沼千裕



小学生 高学年の部

友部小学校 6年 山本美怜

市内の小・中学生応募者160人の中から優秀作品として4人が選ばれました。おめでとうございます。
優秀作品は令和4年度、市内の赤い羽根共同募金運動の啓発用ポスターとして活用させていただきます。



社協 HP



先頃の北京オリンピックでは日本選手が18個のメダルを獲得、大いに国威を揚げた。その興奮が冷めやらぬ内にロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻。テレビは連日戦火を伝えている。
いずれもコロナ禍の出来事だが、コロナは国の内外問わず世の中を劇的に変えている。この先のことはまったく予見出来ないが、コロナが収束して、穏やかな日々の中で広報活動が出来るよう望みたい。(白土)

編集後記

心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でもご相談ください(無料・秘密保持)

時間: 13:00~16:00

(受付は15:30までになります)

場所	社協笠間支所 [第2・4火曜日] TEL 0296-73-0084	地域福祉センターとまへ [第2・4水曜日] TEL 0296-77-0730	地域福祉センターいわま [第1・3木曜日] TEL 0299-45-7889
5月	10日・24日	11日・25日	19日
6月	14日・28日	8日・22日	2日・16日
7月	12日・26日	13日・27日	7日・21日
8月	9日・23日	10日・24日	4日・18日

※その他、法律相談もあります。



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。